



難波っ子

令和2年度3月号
尼崎市立難波小学校
校長 難波 佳代子

し 締めくくり

いよいよ令和2年度も最後の月を迎え、授業日数も残り19日となりました。6年生にとっては、卒業式まで15日余りの登校となります。3月は学校にとって、1年間の学習や学校生活の中で様々に関わってきたことについてまとめ、締めくくる月です。

きちんとまとめを行っていくことは、新たな出発への準備であり、次のステップへの大きな力となることは確かです。一人ひとりの子どもたちに、この1年間を振り返って、「何ができるようになったのか。」「何ができなかったのか。」をしっかりと意識させ、1年間の締めくくりと次の学年への準備をさせたいと思っております。

振り返ると、子どもたちが学校生活の中で、様々な体験や学習を通して、学んできたことや、成長してきたことがたくさんあることに気づきます。身長や体重のように目に見える成長だけでなく、友達が増えたことや協力してやり遂げる力・最後まで粘り強く取り組む力・自分で考え解決していく力がついたこともですし、体力の向上やなわとびなどの運動の技能の向上や、漢字の読み書きや計算ができるようになるなどの知識や技能の向上もあげられます。今年度は感染症対策の中での学校生活でしたが、いつもと違うからこそ気づいたり、身につけたりしたことがあることでしょう。手洗いうがいの習慣・当たり前と思っていることのありがたさ・我慢することの大切さ・家族や友だちなど身近な人の温かさなど・・・・・・・・。

6年生は、6年間の小学校生活の締めくくりです。今年度はコロナ禍で多くの活躍の場がなくなりましたが、今できることに向かって誠実に取り組んでいる姿が素晴らしかったです。6年生を送る会・創立100周年記念式典・卒業式と6年生の良さを十分に発揮して、中学校へつなげていってくれるものと期待しています。

そして、難波小学校は100年の締めくくりです。100年を振り返り、多くの卒業生や地域の人々の思いに応え、次の101年へつなげていきます。3月6日には、創立百周年記念式典を行います。「みんなの思いでつまった 難波小学校 希望のバトンをつなごうよ」全校で歌いつないだ「百周年の歌」は当日の式典の中で、映像で発表します。6年生が在校生代表として出席し、合唱と合奏でお祝いの気持ちを伝えます。

今年度を振り返ると、2月に予定していました参観も緊急事態宣言の発令のため中止となるなど、保護者の皆様に学校に足を運んでいただく機会がほとんど取れませんでした。学校での子どもたちの様子が見えなかったり、教職員との連携がとれなかったりと心配や不安がたくさんあったと思います。そんな中で、いつも本校の教育活動に対し、ご理解ご協力をいただき、本校を大切にいただいていることに深く感謝しています。コロナ禍で休校や外出自粛などによる生活リズムの乱れが学力や心と体の成長に影響しています。残り1か月。規則正しい生活を心がけていただき、心も体も健康に今年度を締めくくることできるようにご家庭でもご協力いただきますようよろしくお願いいたします。